

11 月定例記者会見の概要

1 日 時 令和 4 年 11 月 7 日（月）10 時 00 分～11 時 00 分

2 場 所 本庁舎 3 階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

- ① 朝日新聞社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ② 河北新報社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ③ 読売新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ④ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑤ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）

計 5 社

< 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

- ・新田副市長・常木副市長・小高区役所長・鹿島区役所長
- ・復興企画部長・復興企画部政策担当理事
- ・市民生活部長・健康福祉部長
- ・健康福祉部新型コロナ対策担当理事・こども未来部長
- ・経済部農林水産担当理事・経済部企業支援担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 17 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

はじめに、新型コロナウイルス感染症について、報告いたします。

市では、10月31日から、オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの集団接種を開始いたしました。11月5日までに接種を予定していた方、7,559名のうち、5,769名の方に接種いただき、現時点の接種率は76.3%になりました。

今後のスケジュールは資料「オミクロン株に対応した新型コロナワクチン集団接種スケジュール」に記載のとおりです。国の方針により接種可能な間隔が短縮されたため、当初のスケジュールより前倒しして、年内には接種を完了する予定です。

今年の冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されています。これらの感染症の発症予防、重症化予防には、ワクチン接種が有効です。インフルエンザのワクチン接種は、医療機関で実施しています。12月31日まで高齢者を対象とした定期予防接種を指定医療機関で実施しているほか、1月31日まで小児用インフルエンザワクチン予防接種にかかる費用の一部助成を実施しています。

新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンは、間隔をあけなくても接種が可能となっておりますので、ワクチン接種のご検討をお願いいたします。

次に、前回10月4日の記者会見から最近までの出来事について報告いたします。

はじめに、南相馬市産米のPRについてです。

10月17日に市産米PRの一環として、新米出発式を開催いたしました。市ではこれまで市産米パッケージの制作などに取り組んでまいりましたが、この度、福島県出身で荒汐部屋所属の兄弟力士「大波3兄弟」の皆様に、南相馬米のPR大使に就任いただきました。

当日は、若元春関と若隆元さんにご出席いただき、新米を試食したお二人からは、「おいしい」と太鼓判をいただきました。

今年も自信を持って皆様の食卓にお届けできるお米となっております。このおいしさを多くの人々に知っていただけるよう、今後も様々な企画を通じて「大波3兄弟」の皆様と共に、南相馬市産米をPRしてまいります。

次に、市表彰式についてです。

11月3日に令和4年度南相馬市表彰式を開催し、多年にわたり市勢の進展に寄与され、公共の福祉に貢献された皆様の功績をたたえ、表彰を行いました。今年も、自治分野で21名、教育文化分野で4名、産業経済分野で1名、保健福祉分野で10名、消防防災分野で2名、合計38名の皆様が受賞されました。

今後の予定に入る前に、9月から10月を振り返りますと、政府関係者による視察が集中した時期となりました。

9月17日の岸田総理、秋葉復興大臣、太田経済産業副大臣による福島ロボットテストフィールド視察を皮切りに、関係閣僚や副大臣の皆様が相次いで南相馬市を訪問されました。

9月に野村農林水産大臣が小高区のはほ場を視察、農業者の皆様と意見交換を行ったほか、10月にも野中農林水産副大臣が鹿島区の農業施設を視察されました。

その後、竹谷復興副大臣が産業創造センターや小高産業技術高校などを視察、西村経済産業大臣が下太田工業団地に建設中のワクチン製造工場を視察されました。

今後も、政府関係者の皆様に南相馬市の現状を知っていただき、復興に向けた効果的な政策の実施を要望してまいります。

また、市内で活動する個人や団体の皆様が栄誉ある賞を受賞され、多くの嬉しいニュースが飛び込んできた2ヵ月でもありました。

9月は小高ワーカーズベース様が、起業家などが参加するICCサミットのプレゼンテーションコンテストで優勝されたほか、小高在住の作家、柳美里さんがバークレイ日本賞を受賞したことが発表されました。10月には高ライスセンター様が農林水産祭の農産・蚕糸部門で天皇杯を受賞、バー「ウィザード」の草野聡様が全国バーテンダー技能競技大会で準優勝を収めたほか、半谷商店の半谷克敏様が洋菓子コンテストで農林水産大臣賞を受賞されました。

また、一昨日の11月5日には、日本学校合奏コンクールで石神第二小学校の吹奏楽部が金賞、県教育庁賞を受賞したというニュースも入りました。

ただいまご紹介した皆様以外にも数多くの受賞報告をいただいております、改めてお祝い申し上げます。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに行政区への加入促進についてです。

11月は行政区加入促進月間です。市区長連絡協議会と市は、行政区加入促進街頭キャンペーンを11月1日及び4日に商業施設で行いました。今後は、明日11月8日に、区長が地域の課題や独自の事業を発表する行政区地域活動事例発表会をオンライン南相馬で開催いたします。

この機会により多くの皆様に、行政区の取り組みや重要性についてご理解いただき、地域のつながりや支えあいの輪に加わっていただけるよう周知に努めてまいります。

次に、南相馬市総合防災訓練についてです。

11月15日に、災害発生時の避難行動の確認や常日頃からの防災意識の醸成を目的として、市総合防災訓練を実施いたします。同日開催される県広域防災訓練に合わせて、震度6強の地震発生、大津波警報の発令を想定し、関係団体や行政区の皆様と共に避難所の設営訓練や安否確認訓練などを実施する予定です。

次に、こども未来フェスティバルについてです。

11月19日に、市民文化会館ゆめはっと及び銘醸館で、本年4月1日に「南相馬市こども・子育て応援条例」を制定したことを記念して「こども未来フェスティバル」を開催いたします。会場では、南相馬市で行っている子育てサポート事業の紹介コーナーやアンパンマンショーなど子どもが楽しめるイベントも予定しています。ぜひお子さんと一緒にご参加いただければと思います。

次に、金婚祝賀会についてです。

11月22日に、ホテルラフィーナで、結婚50年を迎えるご夫婦をお祝いする金婚祝賀会を開催いたします。

この度金婚を迎える皆様のご結婚された昭和47年は、札幌冬季オリンピックが開催され、初めてパンダが上野動物園で公開されるなど、明るい話題の多い年でした。

半世紀もの長い月日を夫婦として苦楽を共にし、励まし助け合いながら家庭を支えてこられた皆様にお祝いを申しあげると共に心より敬意を表します。私からの報告は以上です。このあと、皆さんからのご質問をお受けします。

【質疑応答】

質問1:

近頃、北朝鮮からミサイルが頻繁に発射されていることについて、南相馬市としての対応を教えてください。

回答 1 : 市長

ミサイルが発射された際は、危機管理課が、速やかに私や副市長、全部長に連絡することになっています。

これまで南相馬市がJアラートの発令対象地域になることはありませんでしたが、市ではJアラートの発令を想定して、出動体制を再確認したところです。

Jアラートが発令された際は本部員会議を開催することになっていますが、発令からミサイルの到着までの時間は10分程度しかないと聞いています。そのため、防災メールや防災無線等を利用して市民の皆様に避難を呼びかけるなど初動対応をしっかりと行い、万が一被害等があった際は、本部員会議で速やかに対応してまいりたいと考えています。

質問 2 :

12月4日に開催予定の野馬追の里健康マラソン・ウォーキング大会について、今年の参加者数は、前回大会を上回っていますが、多いといえる人数なのでしょうか。

回答 2 : 市民生活部長

昨年度のマラソン部門の参加者数は2,147人、今年は2,477人で330人増となりました。新型コロナウイルスの流行が落ち着きを見せていることが、参加者の増加に繋がったと考えております。

新型コロナウイルス感染症が流行する前の参加者数については、後ほど報告いたします。

回答 2 : 市長

新型コロナウイルス感染症が流行する前は、交流自治体の皆様をご招待して大会前日に交流事業を行っておりましたが、現在は休止している状況です。

質問 3 :

今月に市議会議員選挙が行われますが、投票率向上に向けてどのような取り組みをされていますか。

回答 3 : 市長

先月行われた県知事選では、期日前投票を利用する方も増え、本市の投票率は県内13市の中で2位となりました。市議会議員選挙は市民の関心が高いと思われるので、より一層投票率が高くなることを期待しています。

投票率向上に向けた取り組みについては、後ほど選挙管理委員会から報告いたします。

以上